

「住民に見える議会」
「住民が参加しやすい議会」
「議会力・議員力の向上」を実現する

住宅

サテライトオフィス
(場所未定)

住宅

湯前駅 湯〜とびあ

レールウイング

マンガ美術館
中央公民館

住宅

- ## 今号のイラスト

「くま川鉄道」の湯前駅周辺では、商工事業者を始め、「湯～とぴあ」や「ルールウイング複合施設」、「まんが美術館」などの公共施設において、賑わいづくりに努めています。令和6年度以降も、公共施設の改修や住宅整備など、更なる賑わいづくりを目指しています。

特集(2ページ)につづく・・・

駅周辺を活用しやすい施設へ ハード整備進める

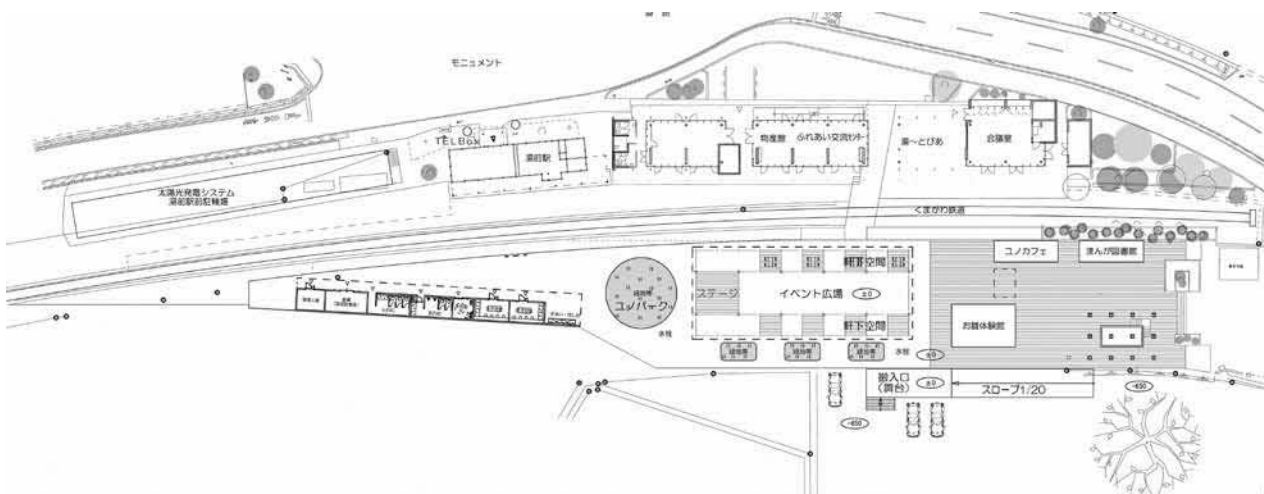
100周年を迎えた「くま川鉄道」の湯前駅周辺は、令和2年7月豪雨災害からの全線開通を見据えて、「湯前駅レールウイング複合施設」や「まんが美術館」を改修します。またピンチをチャンスに変えていくため、駅周辺にサテライトオフィスを誘致し、駅前団地の建設や駅周辺の環境整備、移住定住の受け皿とする分譲地の造成なども進めていきます。

＜関連記事＞本会議４ページを参照

①湯前駅レールウイング複合施設

計画 令和5年度～7年度

老朽化した施設を「子どもや子育てママおよび若者の居場所」として再生し、駅周辺の集客を目指します。施設のテーマは「日常的な賑わいのある楽しい場所」です。この施設の指定管理者には、令和6年度から10年度の期間で、株式会社 i r o h a . (東京都渋谷区)を選定しています。

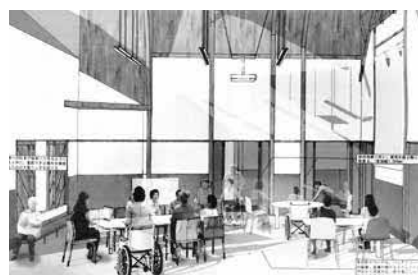


湯前駅ルールウイング複合施設の整備イメージ(案)

②湯前まんが美術館・中央公民館

計画 令和5年度～6年度

まんが美術館内の土足化、図書交流棟の新築、視聴覚室のバリアフリー化など大規模改修を行い、交流スペースの機能を強化します。



各施設の整備イメージ(案)

③住宅関連（地域優良賃貸住宅、単身向け住宅、宅地分譲）

計画 令和4年度～6年度



地域優良賃貸住宅「駅前団地」
※5号棟～7号棟を建設(写真左手前)



Aコープ湯前店の隣にあるJA倉庫跡地
※単身向け住宅2戸を建設予定
※宅地分譲4区画を整備予定



郵便局前の上牧原住宅跡地(中里区) ※宅地分譲10区画を整備予定

④サテライトオフィス

計画 令和6年度～7年度

企業誘致に向けた拠点施設やワーケーション事業を行う体験施設として、町中心部に建設を予定しています。
※場所の選定や設計はこれから実施

教えて ゆっくん

サテライトオフィスって何？

企業や団体の本拠地から離れた場所に設置されたオフィス（事務所）なのだ。本拠地を中心としたとき、衛星（サテライト）のように存在するオフィスという意味から命名されているよ。

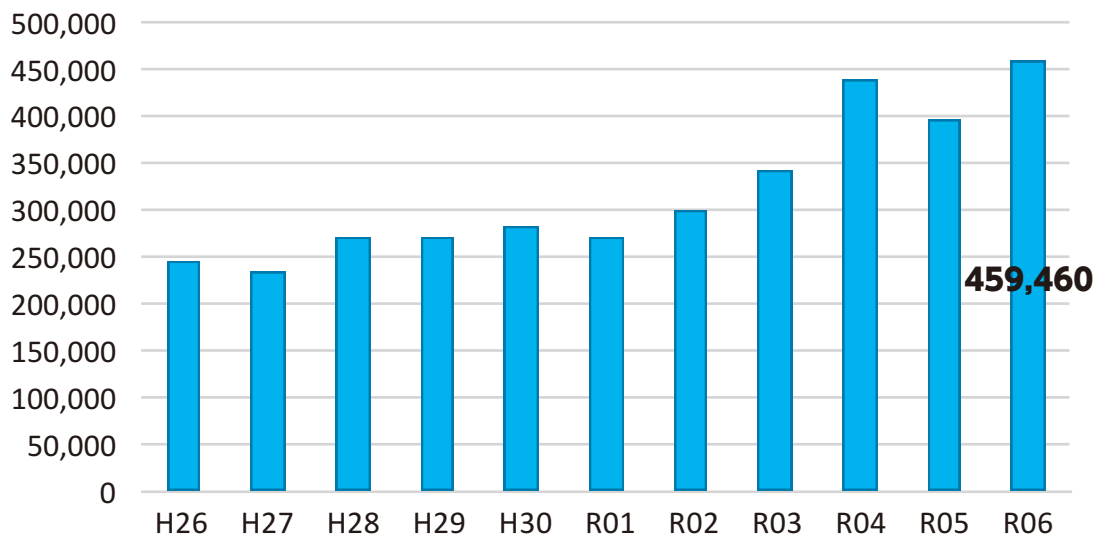


特集に関する住民の声は20ページを参照

当初予算は過去最大 45億円超え

3月定例会は、7日から15日まで9日間の日程で開かれ、議員4人が一般質問を行い、令和5年度補正予算、令和6年度予算、条例改正などを審議しました。一般会計当初予算は、駅周辺の賑わい創造の事業など、過去最大となりました。人事案件では、副町長に清藤氏の選任を同意しました。また1月16日に臨時議会を開いています。

一般会計当初予算の推移(単位：万円)



当初予算

駅周辺の賑わい創造事業

長谷町政2期目の令和5年度から、駅周辺の賑わいを創出するための事業を展開していきます。ここでは、当初予算に計上している3つの関連事業を示します。まんが美術館や住宅関連の整備事業は、令和5年度からの繰越事業となります。

湯前駅レールウイング複合施設再整備工事

2億3100万円

令和2年7月豪雨で被災した「くま川鉄道」の全線開通に向けて、レールウイング複合施設のスペースに、天候に左右されないイベント施設を整備し、駅周辺の賑わい創出を目指します。

本整備事業は、令和5年9月に、企画経済建設常任委員会調査を行っています。

サテライトオフィス新設工事の実設計業務

350万円

サテライトオフィス新設工事に着手します。これまで展開してきたワーケーション推進事業において、サテライトオフィスの要望があり、多くの関係人口を創出する観点から、拠点施設を整備することになりました。

拠点施設の設置箇所は、まんが美術館周辺を予定しています。

ワーケーション推進事業委託料

692万円

この事業は、令和4年度から始まっており、令和6年度以降も継続して取り組んでいきます。

企業との信頼関係を構築しながら、企業誘致につなげていきます。

ドローン映像の共有システムを導入

災害用ドローン購入費

633万円

可搬型ビデオ会議システム導入費

732万1000円

災害時などにおいて、災害対策本部と現地対策本部または災害発生場所をつなぎ、映像を各所で共有しながら、ビデオ会議を行うシステムを導入します。

スマートフォンと連携でき



るため、町長が出張中でも、遠隔地からの適切な指示が可能になります。

指定避難所の空調整備

小学校体育館に新設

1億1000万円

指定避難所である小学校体育館に空調を整備します。なお中学校体育館は、令和7年度に計画しています。

学校給食を無償化

給食費の補助金

1309万3000円

令和6年度以降も、子どもたちの学校給食費を無償化します。令和5年度の2学期から無償化を実施しています。

子育て世代の支援と、学校給食の質的・量的安定を図るため、これからも児童・生徒に安全安心で安定したおいしい給食に取り組んでいきます。

町内観光の基盤整備

観光案内板を更新

1800万円

令和5年度に策定したデザインなどのサイン計画に基づき、町が管理する看板を更新します。

湯前まんが美術館
Yumae Manga Museum

湯前町観光
YUMAE TOWN TOURISM

約 100m

湯前町民グラウンド
Yumae Town Citizens Ground

湯前町役場
Yunomae Town Hall

約 150m

寄附金目標1億円 ふるさと納税関連事業費

5645万3000円

令和6年度のふるさと納税寄附金の目標額は、令和5年度より2000万円増の1億円に設定しています。ふるさと納税に係る返礼品代や決済手数料、業務委託料などの経費を増額しました。

湯前町デジタル田園都市国家構想 総合戦略の策定

730万2000円

現行の第2期湯前町総合戦略が令和6年度で計画が終了することから、国のデジタル田園都市国家構想の策定を受け、本計画を改定します。計画策定審議会の報酬や費用弁償、策定支援業務委託料を計上しています。

農林業の計画策定 湯前町有林管理計画の更新策定業務委託料

450万円

町有林の持続的な利用を促進するため、10年間の施業計画となる町有林管理計画を更新します。

本町の森林整備は、「森づくり構想」、「森林整備計画」、「町有林管理計画」に基づき行われています。

農業振興地域整備計画の基礎調査

800万円

「農業振興地域の整備に関する法律」に基づき、おおむね5年ごとに本計画に関する基礎調査を行います。

担い手不足や高齢化などで、農地が余ってくることが予想されるため、業務を委託することで、これまで以上に精度の高い計画見直しを行います。本計画は、令和8年度に完成する予定です。

町議会議員選挙費用の公費負担 選挙運動公費負担金

532万2000円

この予算は、令和6年11月の任期満了に伴う町議会議員選挙に係る費用を選挙公営（公費負担）にするものです。

令和4年9月に制定した「湯前町議会議員及び湯前町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例」により、令和5年4月の町長選挙から導入しています。

選挙区分	選挙運動に係る公費負担の有無			(参考) 供託金
	自動車	ポスター	ビラ	
町長	×→○	×→○	×→○	50万円
議員	×→○	×→○	頒布不可→○	無し→15万円



公費負担に関する条例
(例規集)

今年度の再開を目指す すずき精米所 湯前町地域産業交流施設を改修

990万円

この施設は、4月以降で改修工事を行い、9月からの指定管理者制度による運営再開を目指します。改修工事のほかに、備品購入や修繕費、工事監理業務委託料も計上しています。また指定管理者の公募は5月に開始する予定です。

杵つき精米所の名称は、条例改正により、「農産物加工施設」から「地域産業交流施設」に変更しています。

補正予算

令和5年度における一般会計の総額は、3月定例会の減額補正をふまえて、最終的に46億3582万7000円となりました。

果樹農家を支援 果樹振興総合補助事業

100万円

ロボット草刈機2件分を支援します。

この補助金は、国の果樹経営支援対策事業に該当しない農用地を所有する農家などに対し、果樹の規模拡大などを図るため、新植・改植する苗木代および経営に必要な高性能機械などの導入を支援するものです。

教えて ゆっくん

選挙公営（公費負担）って何？

公職選挙法が改正され、町村の選挙における立候補環境の改善のため、これまで都道府県と市を対象にしていた公費負担を町村にも拡大したのだ。

また町村議会議員選挙にも供託金制度が導入されているよ。



条例改正

農産物加工施設の条例を改正

▼条例を分割

従来の条例は、「漬物加工施設」と「精米所施設」の2つの異なる農産物加工施設を一つの条例で構成していたため、それぞれ独立した条例に改正しました。

(現行)

◎湯前町農産物加工施設の設置及び管理に関する条例

(改正後)

◎湯前町農産物加工施設の設置及び管理に関する条例
※漬物加工施設

◎湯前町地域産業交流施設の設置及び管理に関する条例
※精米所施設

▼施設の使用料を廃止

これまでは、指定管理者から施設の使用料を徴収していましたが、これを廃止しました。

農産物加工施設	年間使用料	
	これまで	令和6年度～
本工場	17万3680円	無料
塩蔵庫	7万6220円	
(杵つき)精米所	13万1250円	

業費のうち、町の一般財源の部分を使用料(施設利用者の負担金)として徴収していました。漬物加工施設においては、施設の耐用年数が過ぎるおり、指定管理者の負担軽減や経営改善を図ることにしました。また精米所施設においては、指定管理者を公募するにあたり、申請をしやすくなりました。

湯前町お試し居住施設の設置及び管理に関する条例を制定

平成29年度から運用している「お試し居住体験事業」を見直しました。町内での事業展開のため一時的に滞在する人たちも対象にして、施設の利便性を高めることにしました。空き家を活用したお試し居住施設は、本町への移住・定住の促進および町の活性化を図ることを目的としています。湯前駐在所の隣にあり、安心・安全な場所にあるのが特徴です。

3つの基金条例を制定

町が行う事業の財源を確保するに当たり、基金を円滑に活用することを目的として、3つの基金条例を新たに制定しました。

◎湯前町宅地分譲事業等基金条例

◎湯前町熊本地震復興基金条例

◎水の恵み交付金基金条例

その他の議案

副町長決まる

清藤浩文さんを新任

令和5年4月から空席となっていた副町長ポストに、(元)熊本県農村振興局・局長の清藤浩文さん(60才)を全会一致で同意しました。



町3役の紹介(右から清藤副町長、長谷町長、中村教育長)

5施設の指定管理者決まる

指定期間を5年に変更

事業者の経営能力を十分に発揮し、関連事務を軽減するため、これまでの指定期間3年を5年に延長しました。

公共施設	指定管理者	公募	期間
湯前町高齢者生活福祉センター	(福)湯前町社会福祉協議会	なし	5年
湯前町農産物加工施設(塩蔵庫・本工場)	(農組)下村婦人会市房漬加工組合		
湯前町グリーンパレス	ゆのまえ湯楽里(株)		
湯前町避難防災交流施設	湯前町観光物産協会		
湯前駅ルールウイング複合施設	(株)iroha.	あり	

常任委員会を新設 湯前町議会委員会条例 の改正

郡内で初めてとなる広報常任委員会を新設しました。

本町の議会だよりは、「議会だより調査特別委員会（平成29年1月）」と「議会広報調査特別委員会（令和2年12月）」による調査を通じて、内容を拡充してきました。

今回の議会だよりは、広報常任委員会で発行した初版となります。

付託された事項

- ① 議会だよりの企画・編集・発行
- ② 一般質問のYouTube配信
- ③ ホームページ・SNSなどを活用した情報発信
- ④ その他の議会広報に関する事項

（広報常任委員会の関連記事は、委員会17ページを参照）

基本計画（後期）を策定 第6次湯前町総合計画

第6次湯前町総合計画「基本計画（前期）」が令和5年度で終了するため、令和6年度からの4年間を後期とする基本計画を策定します。

本計画は、町の最上位計画であり、議会の議決すべき事件になっています。



後期計画（町HP）



議員在職15年表彰
金子議長・倉本（前）議長

議案審議の賛否一覧〔議案48件 発議1件（1月～3月）〕

議 案	吉田 精二	西 靖邦	遠坂 道太	椎葉 弘樹	森山 宏	黒木 龍次	味岡 恭	倉本 豊	山下 力	金子 光喜	審議結果 (賛成：反対)
令和6年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決(9：0)
令和5年度一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決(9：0)
湯前町宅地分譲事業等基金条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決(9：0)
湯前町熊本地震復興基金条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決(9：0)
水の恵み交付金基金条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決(9：0)
湯前町地域産業交流施設の設置及び管理に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決(9：0)
湯前町お試し居住施設の設置及び管理に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決(9：0)
(発議) 湯前町議会委員会条例の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決(9：0)
上記以外の議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決(9：0)

○：賛成 ×：反対(今回なし) －：採決なし(議長は採決に加わりません)

4人が執行部の考えを質す

質問者(登壇順)	質問項目	ページ
椎葉 弘樹	①掲示場、回覧板、電光掲示板における閲覧性と利便性の向上	10
西 靖邦	①効果的な移住・定住促進施策	11
吉田 精二	①本町農業の将来	12
遠坂 道太	①耕畜連携の今後の取り組み ②学校の施設整備	13

特別企画 前回一般質問

YouTubeアクセスランキング

一般質問への町民の関心をより高めるため、YouTube動画へのアクセスランキングを公表します。議員のやる気につながりますので、ぜひ動画をご覧ください。

議員	12月一般質問
西 靖邦	1157
椎葉 弘樹	90
遠坂 道太	81

(令和6年3月31日時点のアクセス数)

※生配信を除いたアクセス数

一般質問のYouTubeライブ配信(生放送)を行っています。

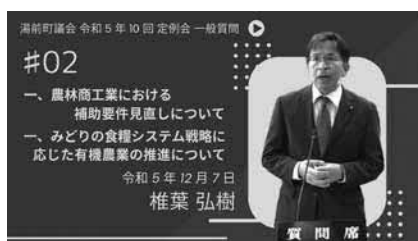
一般質問は、YouTubeで生放送と録画の動画配信を行っています。この動画は、パソコンやスマートフォン、タブレット端末から視聴できます。



YouTube

©YouTube動画(「湯前町オフィシャル」で検索)

前回一般質問のYouTubeサムネイル





質問の様子は
こちら

椎葉 弘樹 議員

議員 掲示場の公告内容をオンラインでも確認できるようにする考えはないか。

課長 掲示場の公告内容を直接見ている方は少ない。その内容は、決して確認しやすいとは言えないが、公告方法は町の公告式条例に従っているところ。町民や町外の方が簡単に確認できる方法は、職員の体制が整ったあとで検討したい。

町長 本町はデジタルトランスフォーメーション(DX)を推進している。職員負担など

問 掲示場、回覧板、電光掲示板における閲覧性と利便性の向上

答 オンライン化を検討したい

も考慮しながら、より良い情報発信の方法を検討したい。

議員 回覧板の情報をオンラインでも確認できるようにする考えはないか。

課長 回覧板の遅延の原因は、旅行や入院などにあることを体験し、認識もしている。回覧板の情報は、できるだけ早く伝える必要がある。

町長 私も回覧板の遅延を経験したことがある。回覧板の内容をホームページでお知らせすることは可能であると考え

議員 電光掲示板の表示内容をオンラインでも確認できるようにし、さらには横断幕も含めて、町民の活躍をもっと多くの人にお知らせする考え

はないか。

課長 電光掲示板の情報は、その前を通る方にタイトル程度の発信となるため、その内容を十分伝えることはできていない。電光掲示板のオンライン化は検討したい。

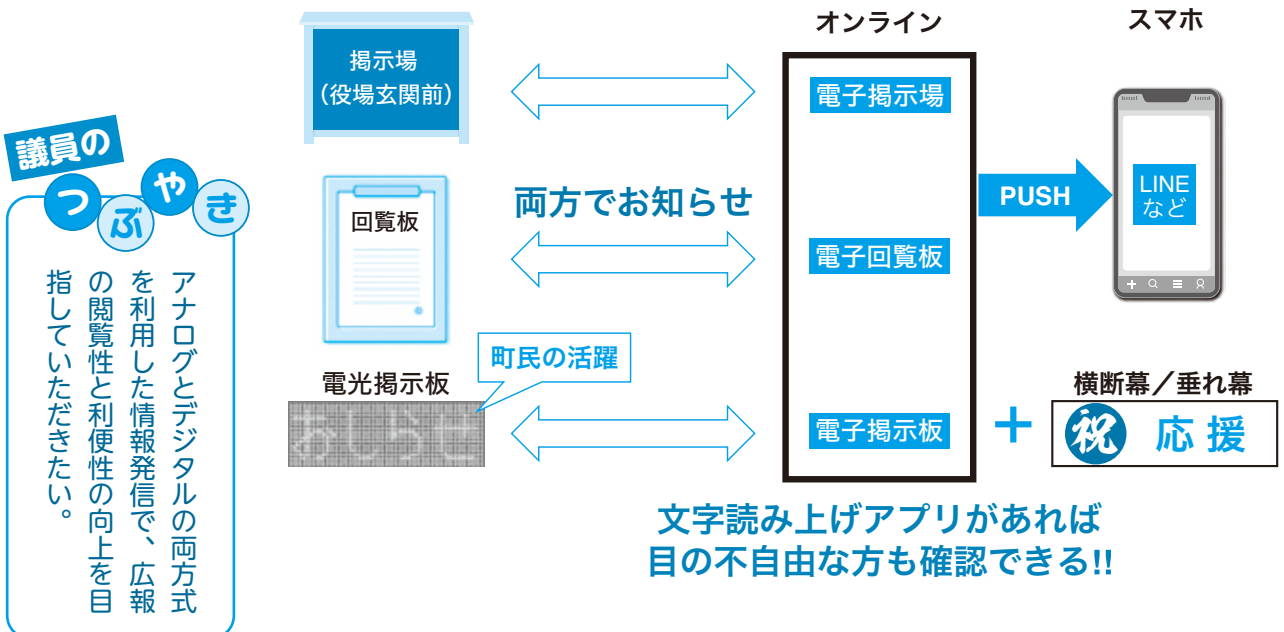
町長 電光掲示板の情報は、可能な限りホームページでお知らせしていきたい。

全国スポーツ大会などの出場者は、可能な限りその情報を電光掲示板で掲載していきたい。

横断幕は、基本的に費用を出さずに電光掲示板で対応したい。ただし、町民の方が例えば、オリンピックやパラリンピックなどに出場される場合は、大変名誉なことなので、個別に検討したい。他町村の支援内容は確認したい。

現在

広報の改善





西 靖邦 議員



質問の様子は
こちら

問 効果的な移住・定住促進施策

答 本町の認知度向上と住宅政策を計画

議員 移住者にとって魅力的な地域の特徴や資源を最大限に活かすための施策を講じる考えはないか。

課長 本町には美しい自然環境、豊かな歴史、美味しい農産物など、地域資源を有している。多くの方に町本来の姿を丁寧に説明しながら、理解をしていただき、移住・定住を進めて行く。関西・関東圏で開催される移住・定住相談会など、積極的に向ききたい。

町長 移住・定住施策は、移住者が住んで良かったと思えるまちづくりが第一だと考えている。全く知らない地に移り住んでいただくためにも、地域住民の協力が不可欠だと

思っている。実行できる施策は、躊躇なく行うよう指示を出している。今年度より、ふるさと回帰センターに入会する予定である。今後も積極的に湯前町をPRし、認知度を上げ、魅力あるまちづくりに努める。

図：「縁結び大学」HPより引用



議員 移住者のニーズに合う魅力的な住宅を提供する考えはないか。

課長 移住に関する資料によると、移住希望者の住宅ニーズは、資金が少なくてもすぐに移住できる賃貸が多いという報告がされている。その点は、本町においてもニーズは同様である。空き家売買などの課題を解決しなければ、移住希望者のニーズには対応できないと思っている。

町長 単身者、子育て世帯、高齢者世帯といった世代が、ほどよい距離と位置に住むことで、お互い良いところを引き出し合う関係は、集合住宅としての整備も一つの考え方と思っている。宅地分譲、若者向けの住宅、集合住宅の検討も含めて、住宅政策を計画していきたい。移住・定住の中に住宅政策を盛り込みながら、移り住んでいただくよう、今後も努力していく。

議員のつぶやき

賃貸集合住宅は、移住や定住を促進し、柔軟性と経済的負担の軽減を提供する重要な要素である。





吉田 精二 議員



質問の様子は
こちら

問 本町農業の将来

答 地域計画の着実な実行が 農業再生のカギとなる

議員 担い手への集積・集約が進んでいない原因をどう考えているか。

課長 町が目標としている集

積率60%に届かない理由は、出し手側が先祖代々の農地を人に譲ることへのためらい。受け手側は、後継者不足や高齢化、農地条件の良し悪しなどが影響しているのではない

か。
出し手側に貸しやすくする奨励金の制度は、助成制度に

取り組まれている自治体の事例を参考にしながら、本町にマッチした施策が見いだせればと考える。

議員 地域計画を実りある計画とするために、町としてどう取り組む考えか。

課長 現在実施している全農家を対象としたアンケート結果をもとに、地区で協議を行い、町の地域計画を令和6年度中に作成する。行政主導型

ではなく、地域の話し合いが重要。農業委員・農地利用最適化推進委員が取りまとめ役となり、リーダーシップを発揮してもらいたい。

町長 地域計画は、各種補助事業の採択要件となる。それと同時に計画を実効性ある計画とするには、地域の皆様の話し合いが重要。本町農業の将来のために、町としてもしっかり支えていきたい。

議員 遊休農地対策を今後どう取り組む考えか。

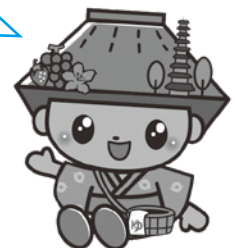
課長 種子代などの助成は、中山間直接支払制度や多面的機能支払制度など、国の制度を活用していただきたい。

高齢者園芸施設導入補助金は、令和4年度まで準備していたが、利用者がなく廃止した。国の制度による共同作業を通じて地域に貢献いただければと思う。

教えて ゆっくん

地域計画って何？

農業者などの話し合いを経て、人と農地の問題を解決する「人・農地プラン」と「目標地図」を合わせた計画のことだよ。つまり農地の集約化を加速させる計画で、令和7年3月までに策定するのだ。「目標地図」とは、10年後の1筆ごとの農地を、誰が利用するかを表した農地利用の将来図なのだ。



議員のつぶやき

先祖代々の農地を、どのような形で未来に繋げていくのか。地域計画が実行性あるものになることを願っている。

問 耕畜連携の今後の取り組み

答 国の経済対策などを有効に活用して施策を実施

議員 今後の耕畜連携をどのように進めていく考えか。

課長 飼料の自給率は、2021年度のデータで飼料全体の25%。ウクライナ情勢の中で、輸入に頼る配合飼料は、国際情勢などにより価格や数量に影響を及ぼし、畜産農家は牛の市場や枝肉相場などの低迷も続いており、大変苦しい経営を余儀なくされている。

畜産農家の廃業が進めば、耕畜連携でのWCSの作付け



遠坂 道太 議員



質問の様子は
こちら

など、国の交付金を活用した畜産用の飼料作付けのバランスが課題である。

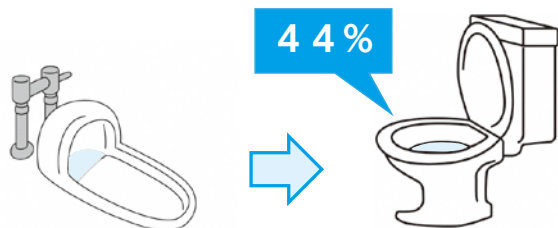
農業公社への真空播種機や汎用コンバインの導入は、必要性、緊急性、農家のニーズ、他の作物への応用や汎用性、購入価格、財源などの確認が必要。

町長 畜産振興、耕畜連携の取り組みを農業公社が担うことは、将来的な役割として大変魅力がある。提案いただいた汎用コンバインや播種機な

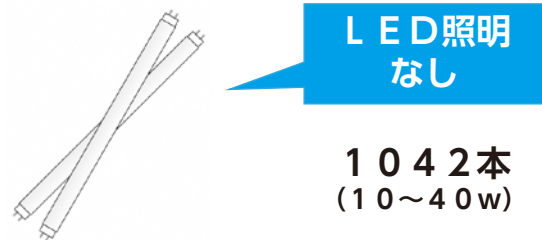
どは、農業公社の理事会や畜産農家の意見を伺ってみた。

近年、農業資材などの物価高騰の影響は大変深刻。農業所得が減少しないように、営農維持を願っている。国の経済対策などを有効に活用し、施策を実施していければと思っています。

小中学校トイレの洋式化率



小中学校校舎の照明



問 学校の施設整備

答 災害時の観点から学校施設の整備を行っていく

議員 小中学校のトイレ改修を進める考えはないか。

課長 小中学校の便器数は、72個に対し、洋式化32個ということで洋式化率は44%となっている。現時点では、洋

式化率100%を目指すところで計画を考えている。令和6年度中に、方針を決定したい。総合計画の実施計画に、令和7年度事業として掲載している。

議員 小中学校のLED化を進める考えはないか。

課長 小中学校に1157灯あるが、ほとんど未改修。公共施設のLED照明器に関する整備計画の中で試算している。

議員のつぶやき

耕畜連携や学校施設の整備は、町で支援できる部分をしっかり取り組んでいただくことを期待する。

議員派遣

2 町村の研修受け入れ

西米良村議会&長洲町議会のタブレット導入

議会活動にタブレット端末の導入を検討している西米良村議会(全議員)と長洲町議会(議長と議会運営委員)が、本町議会の取り組み状況を学ぶために来町されました。

◎西米良村議会

令和6年1月17日(水) 湯前町役場 洋会議室



◎長洲町議会

令和6年3月27日(水) 湯前町役場 洋会議室



研修資料や議員報告書は、議会図書室にありますので、住民の皆さまもご覧いただけます!

上球磨町村の議会だよりを学ぶ

4 町村合同の意見交換会

水上村・多良木町・あさぎり町・湯前町の広報委員が一堂に会し、議会だよりに関する意見を交換しました。

令和6年2月5日(月) 湯前町役場 保健センター



議員全員による 4 年ぶりの視察研修

町の課題を調査

令和6年2月13日(木)～14日 東京都・千葉県

研修先	主な研修内容
(株)iroha. (東京都渋谷区)	・ワーケーション事業の概要 ・成果と今後の取り組み ・受け入れ自治体に求めること
いすみ鉄道(株) (千葉県大多喜町)	・経営状況 ・成果と今後の取り組み ・自治体との関係性(協力体制)
道の駅 たけゆらの里 おおたき (千葉県大多喜町)	・経営状況と課題 ・農産物の集荷体制 ・自治体との関係性(協力体制)



車両の中で研修を受ける「いすみ鉄道」

議会のDXを学ぶ

上球磨正副議長会議員研修会

本町では、議会改革の一環でさまざまなデジタル化※に取り組んでいますが、今後はデジタル・トランスフォーメーション(DX)により、議会がデジタル技術を活用して「業務の効率化」や「生産性の向上」を図り、住民に対する行政サービスの維持と向上を目指す取り組みが重要であることを学びました。

※：タブレット端末などによるペーパーレス化、議会HPの充実、YouTube動画配信、議会予定表のオンライン共有、LINE活用、議会だよりのオンライン公開(HP・マチイロ)など



令和6年2月16日(金) あさぎり町 せきれい館

講師 長内 紳悟氏 [一般社団法人 地方公共団体政策支援機構・上席研究員]

演題 「議会のデジタル化からDX・高度化へ」

総務厚生文教常任委員会

2月1日・3月13日

次の所管事務を調査しました。

○一人暮らし世帯への生活支援状況

○情報通信関連事業の現状

委員長	西 靖邦
副委員長	吉田 精二
委員	倉本 豊、黒木 龍次、椎葉 弘樹

地デジ難視聴地域や既存設備の対応

現在の地デジ難視聴地域への再送信は、庁舎から当該世帯まで光ケーブルによる有線接続で対応しています。町の光インターネット接続が令和5年度末で終了したことから、今後の地デジ再送信の在り方や既存設備の対応などを調査しました。

地デジ難視聴世帯の現状

地 区	世帯数
中 猪	24
浜 川	18
馬 場	15
上 猪	9
古 城	7
浅鹿野	6
野中田一	2
合 計	81

現在の地デジ再送信の仕組み

役場にあるアンテナ装置で地デジの電波をキャッチし、光ケーブルを使って難視聴世帯に再送信
※受信点が役場1か所



無線による受信調査

令和5年度に、地デジ難視聴地域への無線による受信調査を27地点で行いました。その結果、受信できない箇所が14地点あり、庁舎から受信点までの光ケーブル撤去は困難であることが判明しました。

地 区	調査地点の数
○ 受信可能	10
△ 一部不安定	3
× 受信不可	14
合 計	27

今後の対策

地デジ難視聴世帯への再送信は、令和6年度も現行方式を継続しますが、庁舎内にあるセンター設備の維持管理や電柱共架料、設備故障などのマイナス面があります。電波が届く範囲に受信点を設置し、有線か無線で再送信する方式など、今後の再送信の在り方を年度内で調査します。

既存設備の撤去

町からの放送は、IP告知放送端末から防災ラジオに移行し、有線によるインターネット接続も民設民営に移行しました。これを受けて、各家庭に設置しているIP告知放送端末、ONU、LANケーブル、ドロップケーブルおよび幹線の光ケーブルは、地デジ難視聴の関連設備を除き不要となります。これらの撤去方法は、総務課で検討して令和6年度中にお知らせする予定です。

企画経済建設常任委員会

1月25日・3月13日

委員長	遠坂 道太
副委員長	味岡 恭
委員	山下 力、金子 光喜、森山 宏

次の所管事務を調査しました。

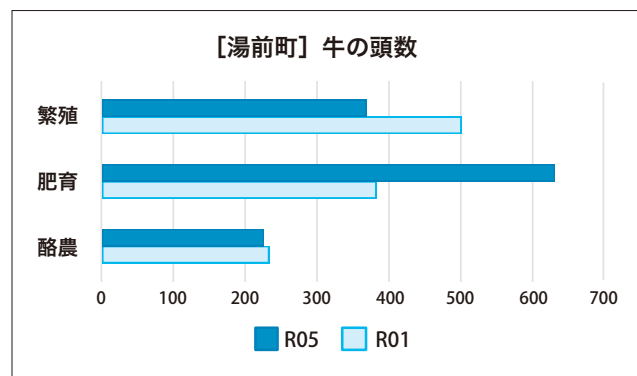
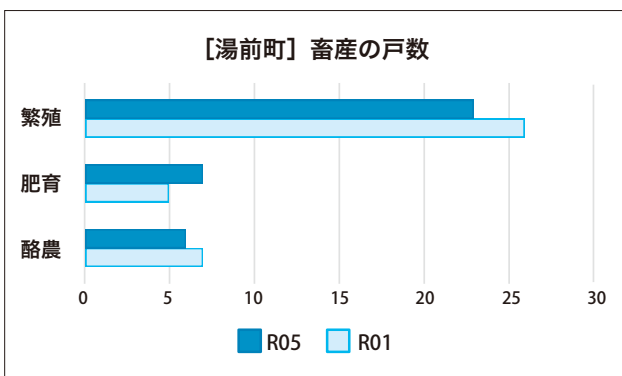
◎県道錦湯前線改良工事の現状

◎湯前町の畜産業の現状

課題を抱える畜産業

繁殖と酪農は減少傾向

現状、畜産農家28戸のうち後継者がいるのは8戸です。全体の戸数は令和元年度と比較して横這いですが、今後の課題をどう解決していくのか重大な局面を迎えています。



今後の課題	現状の支援策
○後継者の問題 ○子牛価格の低迷 ○飼料価格の高騰	◎肉用子牛生産補給金 ◎優良和子牛生産推進緊急支援事業 ◎飼料価格高騰対策支援金事業 ◎畜産奨励補助金(町単独補助)



教えて ゆっくん 肥育と繁殖って何？

肥育とは、肉質の向上を重視して食肉用として育てることだよ。繁殖とは、子牛を産ませて繁殖させるために育てることだよ。

広報常任委員会

3月15日・3月22日・4月2日

委員長	森山 宏
副委員長	西 靖邦
委員	椎葉弘樹、遠坂道太、吉田精二

次の所管事務を調査しました。

◎議会だよりの企画・編集



森山 宏 委員長

議会広報調査特別委員会を経て、広報常任委員会にしました。今後、議会だよりの編集・発行だけでなく、その他の手法も検討し、議会活動を広くわかりやすく「見える化」を進めながら、委員会活動に努めていきます。

議長 の 窓

行政産業視察研修の報告

2月13日から14日にかけて、湯前町議会として東京都と千葉県へ研修に行きました。

初日、本町のワーケーション事業にご協力をいただいている「株式会社 i r o h a .」の大熊勇樹CEOから、ワーケーションの将来性などの説明を受けました。その後、自民党本部で金子恭之先生への表敬訪問と参議院議員会館への挨拶まわりを行いました。翌日、千葉県大多喜町の「いすみ鉄道株式会社(第三セクター)」を訪問しました。ここでは、さまざまなチャレンジのキーマンである古竹孝一社長から鉄道事業の説明を受け、「くま川鉄道」の今後について意見交換ができました。その後、「道の駅大多喜」の取り組みの説明を受け、本町における道の駅の可能性を調査しました。



道の駅大多喜での研修

議会事務局 の 窓

主な議会スケジュール【3月18日～6月16日】

活動内容	日程(予定)	対応者
広報常任委員会	3/22 編集会議 4/2 企画会議	広報委員、金子
長洲町議会研修受け入れ	3/27	議会運営委員、吉田
郡議長会	3/19 4/11 5/16	金子
上球磨正副議長会	3/21、5月中	金子、椎葉
三市町村議会国道整備促進合同協議会	4/15 委員長会 5月中 国道219号現地調査	遠坂 経済建設常任委員
議会全員協議会	4/25 5/27	全議員
常任委員会	5/15 企画経済建設 5/15 総務厚生文教	全議員
全国町村議会正副議長研修会・正副議長による県選出国會議員への要望	5/21～22(東京都)	金子、椎葉
関西地区湯前ふるさと会総会	5/25(大阪府)	吉田
本会議	6/7～14 定例会	全議員
関東地区湯前ふるさと会総会	6/15(東京都)	森山

令和6年度 当初予算と町負担金

一部事務組合	当初予算	湯前町の負担金
公立多良木病院企業団	48億7779万円 (47億9172万円)	1429万円 (1961万円)
人吉球磨広域行政組合	16億2831万円 (22億4827万円)	6260万円 (6375万円)
上球磨消防組合	9億3000万円 (6億9600万円)	1億1701万円 (9993万円)

※括弧数字：令和5年度予算

人吉球磨広域行政組合議会

次期一般廃棄物処理施設の建設予定地

あさぎり町の方針示される

2月29日の3月定例会において、老朽化を見越して一般廃棄物処理施設「人吉球磨クリーンプラザ」(人吉市)の後継施設を、あさぎり町免田東の「旧免田ごみ・し尿処理場跡地」に建設する方針が示されました。

建設予定地は、当組合が所有する「免田リサイクルステーション」がある場所で、約2万㎡の敷地面積。松岡代表理事から「今後は地元のあさぎり町や周辺地域の方々のご理解が得られるよう取り組んでいく」との説明がありました。

現在使用しているクリーンプラザの操業は、平成14年度から行われており、令和14年度までの計画としています。定期的な補修工事を続けながら、次期施設に引き継がれます。方針の決定を受けて、令和6年度は、適地調査業務や地域計画の策定が行われる予定です。

<広域行政議員 椎葉・西>

上球磨消防組合議会

管内の出動件数

	令和5年(1月～12月)	令和6年(1月～3月)
火災	18(4)	3(2)
救急	1796(239)	444(57)
救助	30(4)	7(1)

※括弧数字：湯前町の件数

<上球磨消防議員 森山>

公立多良木病院企業団議会

一般質問

登壇者4人のうち、本町議会の遠坂道太議員が「健診事業」の一般質問を行いました。



遠坂 道太 議員

質問項目	質問内容
健診事業	・ 健診の重要性 ・ 健診者を増やす取り組み ・ 健診センター「コスモ」の現況と今後(改修・建て替え)

<公立病院議員 倉本・遠坂>

年4回にわたりテーマを設定し、住民の皆さまからご意見をいただきます。

テーマ 湯前駅の賑わいづくりについて



下里区
坂口 真紀子 さん

湯前駅は、くま川鉄道の終着駅であり、湯前町の玄関口とも言えるところだと思います。以前は年間を通して祭りなどのイベントが開催されていましたが、水害やコロナの影響もあり、今では年に数回となっています。くま川鉄道の部分運行ができるようになったおかげで、町外の方も湯前町に来やすくなったと思います。駅前の花壇に花を植えたり、冬にはイルミネーションが施されたりしているので、季節を感じられる小さなイベントからでもいいので、なにか企画してもらいたいと思います。

「住民の声」のインタビューをお願いされたときは、ご協力をお願いします。☎0966-43-4132

『議員・風刺を読む』

風刺漫画と議会のコラボ企画



『自然を生かした湯前町未来図』 那須 良輔 氏

那須良輔作品より

▶ 今から38年前の昭和61年に、那須先生は湯前町で開催された「むらおこしシンポジウム」で「ふるさとよ、おきろ」という講演を行われ、この絵のような湯前の未来予想図を提案されています。

▶ 「湯前温泉」、「キャンプ村」、「ヘリコプター」、「パイオ野菜」など、当時は夢物語でしかなかったものを、嘘のように実現しています。

▶ みんなで夢を描き、その夢に向かってみんなで行動していけば、「絵に描いた餅」もおいしく食べられるときが来ることでしょう。(吉田)



新連載 これは、湯前町が取り組むマンガのまちづくりを、議会も積極的に応援する取り組みです。風刺漫画は、地方議会と密接に関わっており、政治の問題や社会の動きを批評的かつ啓発的に表現する重要な手法です。

◆広報常任委員会

私たちが編集しました。

委員長 森山 宏 委員 椎葉 弘樹
副委員長 西 靖邦 遠坂 道太
吉田 精二

湯前町議会

検索

湯前町議会のホームページもご覧ください。

